

## 令和6年度第3回新津第五圏域支え合いのしくみづくり会議 まとめ

【日 時】 令和7年2月3日（月）10:00～11:30

【会 場】 新津地域学園 研修室 304

【出席者】

満日コミ協:小池事務局次長、新津東部コミ協:馬場福祉健康部委員、阿賀浦コミ協:坂口社会福祉部員  
新関コミ協:松屋福祉健康部長、新津東部地区民児協:小林会長、新津阿賀浦地区民児協:山田副会長、老人  
クラブ新関地区協議会:堤会長  
NPO 法人たか坪の会:上杉副理事長、包括にいつ日宝町:遠藤所長、兒玉保健師  
秋葉区健康福祉課高齢介護担当:齋藤副主査、今井係長（行政担当者）  
秋葉区社協:稲垣事務局長、小林 SC、米山

### 1 今年度のふり返り

#### テーマ ゴミ出しの課題について

##### ふり返り（地域の活動も含め）

###### 【新津東部地区】

- ・ 歳末見守り事業をきっかけに、地域として動きがあった。福祉委員にも地域活動の意識が芽生えたように感じる。
- ・ ゴミ出しについても実際に社協が動いてくれたケースがあった。現在も検討中。
- ・ 自分でできることはしたいと言う人もいるので、行政等の支援の紹介ができるとよい。回覧板等で周知ができないか。要支援者が知っているのと支援しやすい。  
→行政の事業一覧表があり、毎年自治町内会長へ周知している。

###### 【満日地区】

- ・ 支援が必要という声もあるが、困っている人の把握方法が難しい。以前は回覧板でも回していた。
- ・ コミ協でホームページを作成しており、そこで困りごとを集約できないか検討中。
- ・ 隣組での交流や支援があるが、それを町内で共有できたらよい。関係者の横同士でのつながりが必要。

###### 【阿賀浦地区】

- ・ 隣組で助け合っている地域もある。
- ・ 困りごとの声が聞けるしくみづくりを考えていかないといけない。
- ・ ホームページはあるので、そこで地域の声が聞けるとよい。
- ・ ゴミ屋敷の課題がある。  
→区民生活課や建設課が相談窓口。認知症によるものなら健康福祉課でも対応できる（行政）
- ・ 3年前から緊急情報キットを75歳になったら配布しており、地域での周知は広まってきたと感じる。
- ・ 免許返納で買い物やサロン等に行く手段がない。（水・土曜日に移動スーパーが来る）

###### 【新関地区】

- ・ 総会等でゴミ出しについて協議した。隣組や近所で支え合うことが大事だと思う。
- ・ 地域のゴミ捨ては少なくなってきた。地域でのクリーン作戦の影響もあるか。
- ・ 小口では町内で除雪の支援を実施できている。
- ・ 空き家の樹木伐採について、土地関係の課題がある。気づいた人が切っている状況。

### 【たか坪の会】

- ・包括やケアマネからの相談が多い。地域の中に窓口や相談係のようなものがあるとつなぎやすい。
- ・相談について、どの機関と一緒に考えればよいか悩む。

### 【包括】

- ・灯油入れ等の生活支援の相談も多い。
- ・地域でどのような取り組みがあるのか共有できるとよい。

### 今後の取り組み

- ・自治会町内会長への働きかけを継続して行う必要がある。
- ・高齢者はどんどん増えていく。支え合いのしくみづくりに自治会町内会も必要なのではないか。
- ・ゴミ出し支援は継続して行っていく。(たか坪の会)
- ・ゴミ出しに限らず、検討したことが地域へフィードバックされると良い。
- ・買い物や通院等の交通手段の問題もある。
- ・移動の足の問題は今後検討が必要だと思われる。

## 2 令和7年度の取り組み

### ①圏域の取り組みについて

- ・ゴミ出しのテーマは継続して考えていく。
- ・困っている人は声をあげない。そうした人への支援方法、関わりを考えていく。(ひきこもり等)
- ・サロン送迎も今後大事な課題となるため、検討が必要。
- ・買い物支援については地域の考えを聞きながら検討していく。
- ・取り組みの周知には、理解が必要。地域には心を込めた説明をしていく。

→令和7年度の圏域のテーマは「ごみ出しについて」を引き続き検討する。

また、「移動の課題について」もテーマとして検討する。